

01 蓮田スマートインターチェンジ(上り線)及び周辺の土地利用について

「蓮田市の発展、立地条件の良さを生かすにはスマートインターチェンジのフル化は必ず必要」との立場から過去に5回サービスエリア、スマートインターチェンジ関連の一般質問を行ってきました。フル化への工事が開始された現在の状況、そして今後の予定、川島地区の土地利用についての質問をさせていただきました。

蓮田スマートインターチェンジ(上り線)について

質問 進捗状況は。

答弁 令和3年7月にネクスコ東日本が蓮田スマートインターチェンジ(上り線)の工事に着手し、ランプ線出入口部分の道路工事やETC施設の設置工事などを進めています。市は埼玉県と共同し一般道からスマートインターチェンジにスムーズな誘導ができるよう市道、県道に標識設置や路面標示などを進めています。

質問 完成時期は。

答弁 工事が順調に進めば令和4年の春頃にはオープンできるのではと考えています。

蓮田スマートインターチェンジ(上り線)周辺の土地利用及び道路の整備について

質問 地域からの要望は。

答弁 令和2年3月27日には、蓮田サービスエリア上り線周辺土地利用協議会から「現在の農業系の土地利用から商業施設や工業系の土地利用へ転換したい」との要望書をいただいております。

質問 (仮称)新SICアクセスルートとは。

答弁 蓮田スマートインターチェンジ(上り線)と岩槻区馬込や岩槻区北部工業団地(古ヶ場)を結ぶ構想路線です。蓮田スマートインターチェンジ開通後の交通事情等を確認し計画を進めたいと考えています。

私は元荒川右岸という好立地条件を生かせるよう、例えば東京への玄関口としての宿泊(休憩)施設の立地や、市内商工業発展のためのアクセスルートの構築の視点から蓮田市都市計画マスタープランに沿って、すみやかに計画をたてるよう求めました。

詳細については動画で見ることができます。
菊池義人YouTube 「蓮田スマートインターチェンジ及び周辺の土地利用について」



02 黒浜緑地について

黒浜緑地は、「蓮田都市計画事業黒浜土地地区画整理事業」にて整備された現在の藤ノ木地内にあり昭和57年6月に事業決定され、平成29年1月に最後の換地処分をもって、竣工しました。また、この藤ノ木地内には、約12,000㎡公園(5箇所の合計)と11,000㎡の緑地があり緑豊かな地区でもあります。現在では緑地の管理の課題もあり、落葉の問題の他、倒木被害の報告もあります。

平成29年12月議会で一般質問をして以来、継続してこの課題に取り組んでまいりました。

詳細については動画で見ることができます。
菊池義人YouTube 「黒浜緑地について」



03 屋外スポーツ施設整備について



今回はパルシー屋外施設、小学校予定地(馬込グラウンド)、トモクグラウンドについてスポーツ団体等の利用状況、グラウンドの管理状況、課題について質問し、現在のグラウンドの必要性、総合グラウンドの必要性について確認しました。

詳細については動画で見ることができます。
菊池義人YouTube 「屋外スポーツ施設について」



01 円滑な3回目のコロナワクチン接種に向けて

新型コロナウイルスワクチン接種事業については、これまで令和3年3月議会と6月議会において、事業計画を明らかにし、市民の方の不安や要望実現のため、一般質問を行いました。その後更なる感染症対策として、12月からは医療従事者の3回目の接種が開始されました。5月14日から1回目の接種が始まった市民への3回目の接種は、2回目から8カ月後の令和4年2月から順次開始される予定です。そこで3回目の接種が円滑に実施されるよう、12月議会で一般質問を行いました。次の表は3回目の接種に関する主なものです。



質問内容	答弁内容 (一部他からの情報を加えました。またその後の変更等があるかもしれませんので、最新情報をご確認ください。)
接種計画は	2回目の接種から原則8カ月を経過する方から順に接種券を送付し、接種をお受けいただきます。市内医療機関での個別接種を中心としながら、8カ月を経過する方の多くなる令和4年3月、4月と6月には総合市民体育館パルシーでの集団接種も併せて実施する予定です。またパルシーのシャトルバスも運行する予定です。
接種時期は	2回目の接種日から8カ月後の同日以降に希望者全員が遅滞なく接種できるよう、無料接種券を送付し、予約いただくことになります。 (例) 2回目の接種が令和3年7月16日→令和4年3月16日以降に3回目の接種が可能
予約方法と改善点は	予約については、これまでと同様、LINE、Web、電話の3つの受付方法で行います。各医療機関での受付は行いません。予約電話番号は1・2回目と同様です。また改善点としましては、接種券の発送を小刻みに行うことにより、予約の分散化を図りたいと考えています。また、特に高齢者の予約時期を中心にコールセンターの大幅な増員や、公共施設での予約支援の拡充も検討しています。
ワクチンは	1・2回目で受けたワクチンの種類にかかわらず、ファイザー社製又は相当数供給されるモデルナ社製のワクチンを使用することになります。予約の際にはどのメーカーのワクチンを接種するかお知らせする予定です。なお、現在、国・県から令和4年3月接種分(接種対象者数は約20,000人)までのワクチンの供給予定が示されており(両社合計で20,400回分)、必要なワクチン数は概ね確保できる見込みです。
課題等は	①市ではこれまでファイザー社製ワクチンのみを扱ってきましたが、3回目の接種ではモデルナ社製ワクチンも相当数供給されることから、2回目までとは異なるメーカーのワクチンを接種する交互接種について市民の方の理解が得られるよう周知を図っていくこと、 ②今後の感染状況の変化などに伴い早急な対応が必要となることも想定され状況の変化の見極めが必要なこと、などです。

02 市内の公園等について

質問 市民の実態に即した公園の在り方の検討状況や整備の考え方は。

答弁 市の公園は、区画整理事業や民間の宅地開発により造られた公園が主であり、市街化区域に集中している一方で、南新宿、閨戸、黒浜、貝塚、根金や平野地区には大きな公園はなく、数も限られています。市内の多くの公園が造られてから30年以上経過しており、市民の居住実態や利用者ニーズに即した公園づくりを研究するとともに、安全性に配慮しながら、公園整備に向けて努力してまいります。

